

よこはま動物園 開園 20 周年記念事業実施報告

よこはま動物園 ○上田佳世

1 はじめに

よこはま動物園ズーラシアは、1999 年 4 月 24 日に「横浜動物の森公園」の一部として開園して以降、少しずつエリアを拡大し、今年開園 20 周年を迎えた。開園 20 周年を契機に、記念式典、特別イベント、記念誌、シンポジウムの 4 つのプロジェクトを立ち上げ、それぞれに記念事業を企画・実施した。その中から特別イベントの一部を報告する。

2 特別イベント「開園 20 周年特別企画！20 組ご招待！」

普段は体験できないような来園者参加型の特別な企画を職員が立案し、開園 20 周年にちなんで「開園 20 周年特別企画！20 組ご招待！」と題して、抽選で選ばれた 20 組の参加者に実施した。なお、20 組の当選者を記念式典（図 1）にも招待し、目録や記念品を贈呈した。

(1) モーニングツアー

この企画は、動物の生態や個体の性格、飼育員の仕事や動物園の楽しみ方などを飼育員がガイドしながら開園前の動物園をめぐる特別ツアー（図 2）で、生物多様性の保全や環境教育、動物福祉などといった動物園の取り組みについても理解を深めてもらうことができた。参加者からは、飼育員から直接話を聞き、体験したことで、動物や動物園に対する印象や考えが変わったとの声が届いている。

このほかにも、飼育体験、飼育員によるガイドツアー（図 3）、半日園長（図 4）などを実施した。



図 1 記念式典でイベント当選者へ目録の贈呈

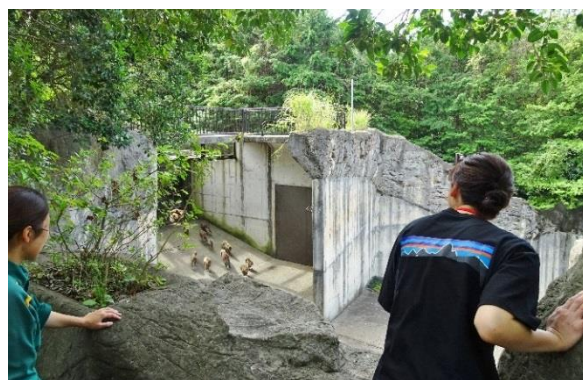


図 2 モーニングツアーで放飼の様子を見学



図3 飼育員によるガイドツアーで餌やり体験

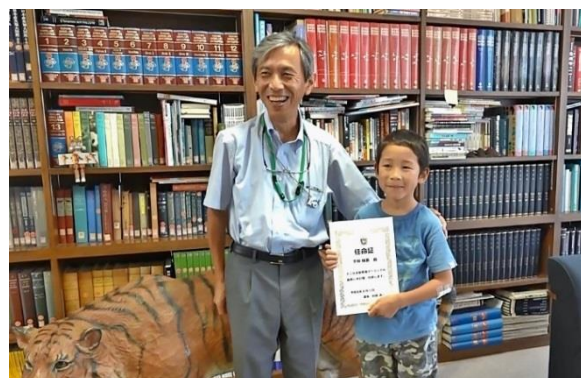


図4 半日園長で村田園長より任命証授与

(2) Zoorasia Art Gallery 「和紙工芸やまねこ人形展」

写真や絵画、立体造形物等の参加者の日頃の創作活動の発表の場を提供し、参加者と一緒に作り上げる企画展を実施した。和紙の繊維を活かして貼り重ねた紙塑ねこ人形を展示するとともに、野生のツシマヤマネコの暮らしや現状を呼び掛けるポスターも掲示し、野生動物の生息環境についても啓発できるよい企画であった（図5、6）。

このほかにも、職員と一緒に園内を回り、ベストショットの動物写真をズーラシアの公式ホームページに掲載する、HPに掲載する動物写真を撮ろう！を実施した（図7、8）。参加者からは、この企画への参加をきっかけに動物の魅力に気づき、何度も動物園を訪れて写真を撮影しているとの声が寄せられている。



図5 和紙工芸やまねこ人形



図6 ツシマヤマネコの野生での暮らしを知る



図7 参加者が撮影したインドゾウ



図8 公式ホームページへ掲載

4 おわりに

開園 20 周年を契機として様々な記念事業を展開したことで、よこはま動物園の認知度向上、来園促進に繋がるとともに、動物園の 4 つの役割である種の保全、環境教育、調査研究、レクリエーションを市民の皆様にご存知いただく機会となった。来春まで記念事業は継続しているため、より多くの方にご来園いただけるよう、今後も可能性を広げながら取り組んでいきたい。